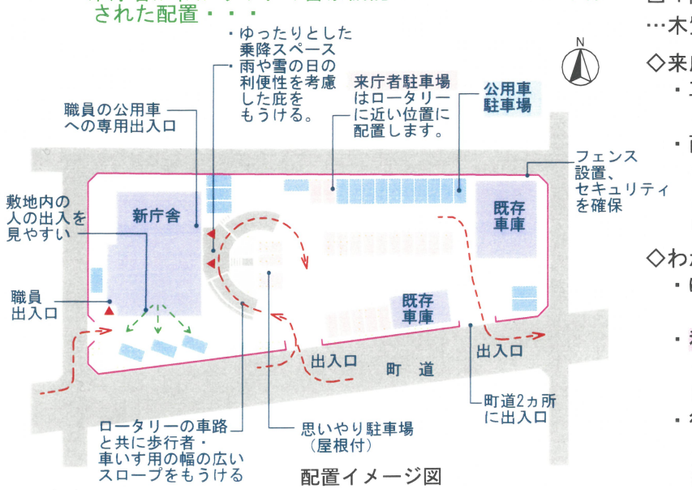
受付番号
4

（１）県民の利便性に配慮し、必要なセキュリティが確保された庁舎の提案

■配置について

・・・来庁者がわかりやすく警察機能のセキュリティが確保された配置・・・



配置イメージ図

□車寄せについて

・町道とスロープ、入口からわかりやすい位置に車路（ロータリー）をもうけ、乗降スペースはゆったりとした安全な広さをとり、庇をもうけます。

□駐車場について

・駐車台数は４０台です。
・来庁者駐車場は、わかりやすく便利で安全性に配慮したロータリーに近い位置にもうけます。
・「思いやり駐車場」は屋根をもうけ雨に濡れずに乗降でき、建物近くロータリーの中央にもうけます。

□職員の出入口について

・警察機能はセキュリティの確保が求められます。職員専用出入口、一般業務時、緊急業務時の公用車駐車場へのアクセスが容易な位置に専用出入口をもうけます。また、不用意に一般の来庁者が専用エリアに入れない動線とします。

■平面構成について

・・・来庁者エリアと警察機能エリアを明確にわけ、セキュリティ機能が働く構成・・・

□１階の構成について

…木質を使用した内装の待合ホール…

◇来庁者エリアと警察機能エリアを明確にした構成

・車寄せから待合ホール、エレベーター、トイレ、階段室など来客が利用するエリアとします。
・西側の職員専用出入口、２階への直通階段、用務員室、総務係、地域交通係、更衣、当直室への動線など、セキュリティの確保された警察機能エリアを明確にした構成とします。

◇わかりやすく、利用しやすい窓口

・ゆったりとした車寄せから風除室を通ると広々とした待合ホール、窓口カウンターに向かいます。
・利用者の動線を短くし、プライバシーのある衝立をもうけたオープンカウンターとして、気楽に利用できるようにします。
・待合ホールは待合椅子があり、県警察の情報が知ることができる広報など、内装にも配慮し、木質材を利用した、ゆったりとした親しみのある場をつくります。

□２階の構成について

…緊急時、迅速に活動できる２方向階段…

◇職員の動きやすい構成

・職員専用階段、一般階段に近い位置に特別警ら隊室をもうけます。
・２方向の廊下にて、刑事生活安全係、会議室へのわかりやすい動線とします。
・中央に掲示資料室、倉庫をもうけ、職員専用階段近く、通信関係室をもうけます。
・専用階段から屋上への内階段を設置し、発電機室、受水槽、太陽光発電設備などのメンテナンス用とします。
・一般来庁者エリアとして、階段室、EV、廊下にて、刑事生活安全係、会議室への動線を明確にします。

外観イメージスケッチ

（２）県民の安全・安心の拠点となる庁舎の提案

・・・非常時に警察機能が継続的に使用できる庁舎をつくります・・・

□災害に強い堅牢な庁舎

・構造体は鉄筋コンクリート２階建て、耐震安全性分類は「Ⅰ類」で設計します。
・構造形式は、柱、壁等のバランスの良い構造計画。建築の非構造部材「Ａ類」、建築設備「甲類」を確保し、イニシャルコスト、ランニングコスト等を重視して、「耐震」構造とします。協議により、「制振」「免振」の構造形式もできる平面構成を提案します。

□警察機能を継続できる災害対策の拠点

・災害時において、警察業務が平常時と同じように機能（建物、通信回線、電気設備、給排水、空調等の設備に損傷がなく平常に機能）し、来庁者に安心感を与え、職員の安全性も確保された庁舎をつくります。
・浸水対策について。
地盤より１ｍの高さを１階の床とし、出入口３ヶ所に止水板を設置します。通信関係室、機械室等は２階以上に設けた平面構成とします。
・通信関係室等の電源設備について。
停電時、自家発電設備を設置するなど、対策本部機能を維持します。
・機械設備、防犯対策について。
給水、排水管との損傷に迅速に修繕ができるシンプルな配管計画とし、飲料水の確保（屋上受水槽）、仮設トイレ、食料の備蓄等を確保し、また、防犯性、セキュリティなど防犯対策にも配慮した敷地の配置、平面構成とします。

□外観デザインについて

・深い庇、連続するタテの壁など、まわりの景観に調和し、印象に残る地域のランドマークとして、品性のある庁舎をつくります。

（３）人にやさしく環境に配慮した庁舎の提案

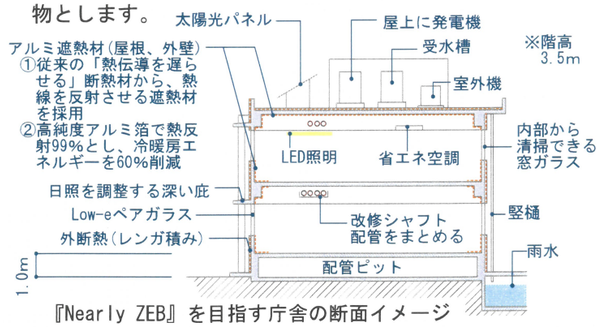
・・・周りの景観と調和し、訪れる人も働く職員も安心して利用できる、快適で安全な、災害にも強い庁舎をつくります。・・・

□ユニバーサル化した庁舎

・障害者、高齢者、子ども連れ、外国人など多様な訪れる人、また、働く職員に危険のない安心して利用できるユニバーサルデザインにて計画します。
　・訪れる人にわかりやすいサイン計画。
　・使いやすくプライバシーも確保されている窓口カウンターなどの家具。
　・床の段差、凹凸のあるディティール、広い廊下の確保など、危険のない建物。
　・盲導犬を連れた人、オストメイトや、ベビーチェアーの設置など、多様な人に配慮した建物。

□訪れる人、働く職員に快適な環境をつくる省エネルギーな庁舎

・イニシャルコスト、ランニングコストなど、ライフサイクルコストのバランスを考え、訪れる人、働く職員にも快適な空間を省エネルギーにてつくります。
・南光線、風が通り抜ける執務室、待合室など、自然エネルギーを利用した快適な空間をつくります。
・再生可能エネルギーの利用。
太陽光発電によるNearly ZEB以上を目指し、また、樹木の散水、トイレの排水は雨水の利用を考慮します。
・省エネルギーな設備機器（高効率エアコン、熱交換型換気扇）、材料。
給水節水型機器、電気のＬＥＤ照明、人感センサー。昼光利用制御センサー、環境に配慮した材料（エコマテリアル）を使用します。
・建築材料、設備機器などの長寿命化、３Ｒにも考慮した建物とします。



『Nearly ZEB』を目指す庁舎の断面イメージ

（４）社会環境の変化に柔軟に対応できる庁舎の提案

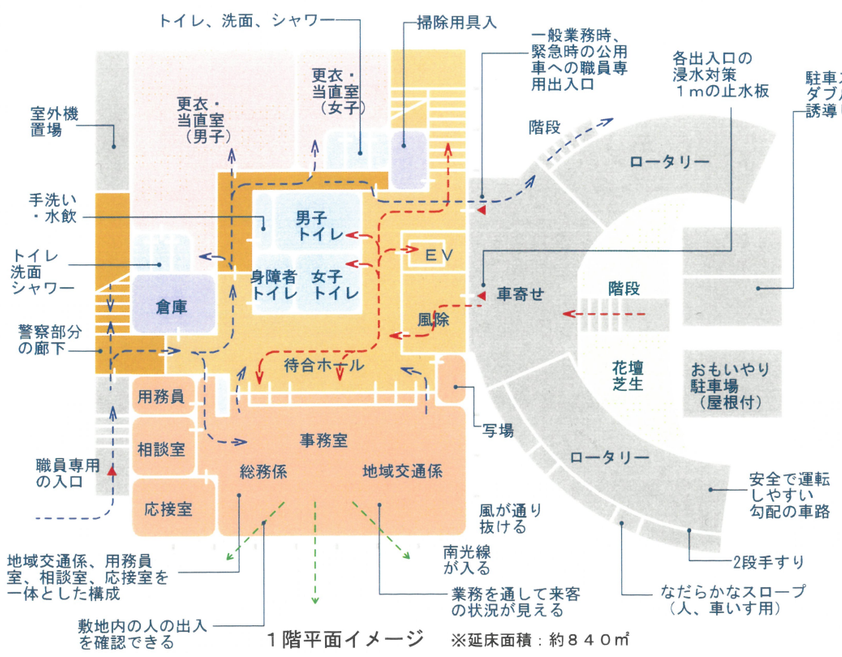
・・・庁舎はイニシャルコスト、ランニングコスト、修繕、解体までのライフサイクルコストを考慮して設計します。・・・

□簡単に間仕切、設備等が変更できる

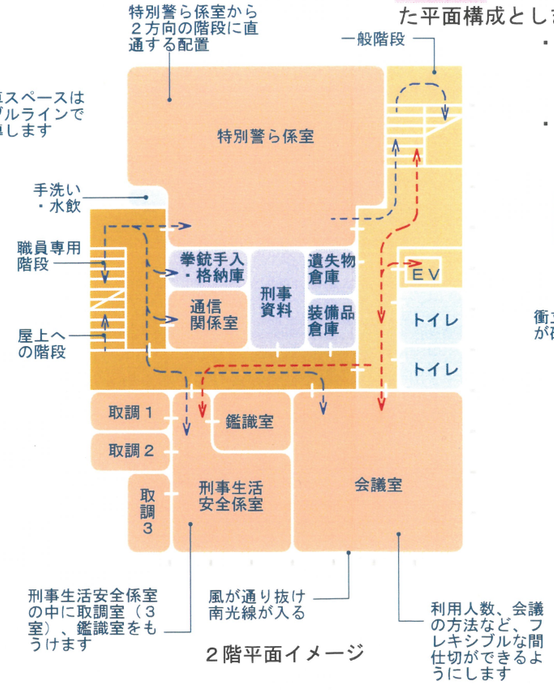
・警察機能の課室の変更などに、間仕切、天井、電気設備、給排水等の設備が低コストで施工できるようにします。

□維持管理しやすい建物

・修繕しやすい材料、清掃、省エネルギー機器など、ランニングコストに配慮した建物とします。
・断熱をしっかり行い、ランニングコストを下げ、イニシャルコストより高いライフサイクルコストを下げます。



１階平面イメージ　※延床面積：約８４０㎡



２階平面イメージ

風除室から、待合ホールのイメージ

なだらかなアールの天井、木質の壁、ユニバーサルデザインのカウンター、訪れる人に安心感を与える待合室